

①海の京都DMOプロジェクト

2016年6月「海の京都DMO」を設立し「海の京都」の知名度向上、観光客増加につながるような広域的観光事業を戦略的に展開

	観光入込客数 (万人)	観光消費額 (億円)	外国人宿泊客数 (人)
2015年	999	242	35,262
2019年	1,026	273	78,570
増加率	102.7%	112.8%	222.8%



②合同企業説明会

本圏域に所在する企業への就職を促進し、人材を確保するとともに、本圏域への移住・定住の促進を図るため、京阪神の大学等の卒業予定者や未就職卒業者、Uターン希望者を対象に、京都市内において合同企業説明会を実施

	参加企業 (社)	就職希望者数 (人)	内定者数 (人)
2016年	97	117	20
2017年	122	133	22
2018年	136	130	19
2019年	146	89	13

◎インバウンドプロモーション

- DMOとして大規模な商談会への参加を実現
(市町単独であれば参加は困難)
⇒2019年度には、8か国・58社とセールスコールを行い、13件の新規ツアー等を造成
- 5市2町を一つの「海の京都観光圏」としてプロモーションしたことにより、海外における本圏域の認知度が向上
⇒外国人宿泊客が123%増加、観光消費額が13%増加

◎国内旅行者へのプロモーション

- 海の京都観光圏エリア全域で使用できるクーポンの発行による周遊促進イベントなど、圏域の多様な特色を生かしたキャンペーンを実施
⇒圏域内での滞在時間・消費額の拡大
(例：「海の京都「美食」プロモーション(2019)」では、3,667千円の事業費で17,869千円の消費を創出)

- 合同で実施することにより、都市部において大規模な説明会を実現。⇒地元出身者に限らず、都市在住の参加者に参加いただくことができ、内定者を確保することができた。
- 2019年度：来場者89名の内、50名が5市2町出身者であるが、他地域出身者39名の参加も得ることができた。
⇒北部に所在する企業情報を広く発信する機会、Uターンに加え、新たな移住者を獲得する機会の創出



③農商ビジネス商談会

生産者のPR力の向上や販路先の拡大、新商品開発に繋がる生産者と事業者の出会いの機会創出、参加者同士のビジネスネットワークの構築等を目的に、域内で活躍している生産者と、その販路先となる事業者をマッチングする商談会を実施

	生産者 (人)	事業者(人)	商談成立 (件)
2016年	14	20	13
2017年	31	39	13
2018年	31	33	3
2019年	31	49	10
2020年	25	44	3

- 5市2町の圏域で実施したことにより多様な出展者（生産者）を確保し、圏域外からも多数の事業者が参加する商談会を実現（開催規模を確保）
- 新たなビジネス機会の創出（特色ある農林水産物の発信、マッチングによる新商品開発等）を実現
- 当該商談会をきっかけに、金融機関が主体となった新たな事業に発展（金融機関が都市部での商談会を開催）



④京都府北部U I ターンプロジェクト

統一的なコンセプトによる地域ブランドイメージの確立を図り、魅力的な移住先進圏としてのブランディング戦略を展開

	ポータルサイトアクセス数	移住実績(世帯)
2016年	—	90
2017年	13,012	121
2018年	30,712	88
2019年	48,046	94

- 地域ブランディングの確立**
- ポータルサイト「たんたんターン」を立ち上げ→5市2町の空き家情報や移住相談会等のイベント情報等のワンストップ化⇒移住サイトへのアクセス数の拡大
 - 移住者のネットワークが広がる中で、市町単独ではできない規模の移住相談イベント等を実施（移住促進や関係人口の創出）



※参考：京都府北部圏域の合計特殊出生率（**1.75**）は、全国的にも高いレベルを維持している。（全国：1.43 京都府：1.32）

⑤「機能の共同化」の促進

i. 消防指令システム及び消防指令センターの共同運用

- 運用開始予定日 2024年4月1日
- 共同指令センター 福知山市消防防災センターに設置
- 連携市町 福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町、
亀岡市、南丹市、京丹波町、



ii. 水道事業の広域連携・広域化

水道事業における経営の効率化を目指した取組を推進

- 窓口業務共同委託（舞鶴市及び宮津市 2019年11月）
- 電力調達共同入札（舞鶴市及び福知山市 2020年12月）
- ◇ 窓口業務の共同化やシステムの統合、施設の共同利用、簡易台帳システム、水質検査の共同委託を推進
- ◇ 共同化に係る費用や効果の研究

iii. 図書館相互連携

2018年度：延べ19,825人→2019年度：延べ21,808人
 ⇒相互利用の推進により利用者が110%増加し、資源の有効活用が図られている。

⑥その他の取組

■ 圏内で唯一の4年制大学を活用した生涯学習等の連携事業

- ・ 福知山公立大学卒業生の出口対策の取組
- ・ 地域課題を住民と話し合う生涯学習の開催

■ 加圧式給水車を共同整備（2018年4月）

- ・ 北部4市町が災害などの断水時に備えて加圧式給水車を共同整備（舞鶴市、宮津市、伊根町、与謝野町）

